

<プレスリリース>

平成 25 年 7 月 17 日

報道関係各位

公益社団法人日本鉄筋継手協会

公益社団法人日本鉄筋継手協会は「鉄筋継手工事特記仕様書」を制定

公益社団法人 日本鉄筋継手協会（会長 出雲淳一）は、この度、標準的な構造特記仕様書として「鉄筋継手工事特記仕様書」を制定しました。

近年、鉄筋コンクリート構造物の超高層化・大型化に伴って建設構工法が多様化し、鉄筋も高強度化・太径化が進み、それに対応して鉄筋継手工法も多くの種類が開発されています。鉄筋継手の品質・性能は、構造物の耐震安全性に大きな影響を与えるため、鉄筋継手工事の品質管理の重要性が増しています。

本協会は、平成 21 年（2009 年）に、行政をはじめとして多くの鉄筋継手関係の参画を得て、各種鉄筋継手の工事標準仕様書を改訂し、「鉄筋継手工事標準仕様書（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）2009 年」として発行しました。鉄筋継手工事標準仕様書のうち、ガス圧接継手工事については、既に国土交通省や各学協会等の仕様書、規準等に採用されていますが、溶接継手工事、機械式継手工事については、制定して年月が浅いため、まだ各団体の仕様書・規準等に採用されているケースが少なく、実工事における品質管理の方法もばらつきがあるのが現状です。

そのため、鉄筋継手の品質にもばらつきがあることに鑑み、本協会では、発注者・設計者が鉄筋継手工事標準仕様書の内容を盛り込んだ構造特記仕様書を作成して施工者（元請）に明示することが、鉄筋継手の品質確保及び品質向上に不可欠であると考え、設計・工事監理・行政審査に携わる関係者の参画を得て、標準的な構造特記仕様書としての「鉄筋継手工事特記仕様書」を制定しました。

本特記仕様書は、鉄筋継手工事標準仕様書の内容を落とし込み、構造特記仕様書に記載される項目の一つである「鉄筋継手」の部分に盛り込んでいただけるよう、標準的な内容の雛形としてまとめています。

なお、本特記仕様書は本協会ホームページ (<http://www.tekkin-tsugite.or.jp>) にて公開し、無償でダウンロードできるようにしていますので、発注者・設計者が構造特記仕様書を作成するに当たって活用していただくことによって、鉄筋継手の品質確保、品質向上が期待されます。

以上

<参 考>

1. 鉄筋継手工事特記仕様書（2013 年）（別添資料）

<お問い合わせ先>

公益社団法人日本鉄筋継手協会

専務理事 矢部喜堂 係長 鹿野直哉

TEL：03-3230-0981

FAX：03-3230-0982